

報道関係各位

2026 年 10 月 14 日

安田女子大学

学生が広島空港発着路線の認知拡大を考案、最優秀グループは台湾で実地調査へ

安田女子大学×チャイナエアライン（CI）×広島空港振興協議会 若者の台湾旅行需要創出に向けた産官学連携 PBL を実施

安田女子大学（広島市安佐南区）は、チャイナエアラインおよび広島空港振興協議会と連携し、産官学連携による Problem Based Learning（問題解決型学習、以下 PBL）を実施します。現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科の学生が、若年層をターゲットとした「広島空港発着 チャイナエアライン路線」の認知拡大・利用促進に向けた企画提案に取り組みます。

学生は、チャイナエアラインや広島空港振興協議会による 3 回講義のほか、調査やフィールドワークを通して企画を立案し、12 月に最終発表を行います。最優秀グループは 2 月に台湾で実地調査を行い、現地で撮影・制作した Vlog を SNS で発信する予定です。

■背景

広島空港発着のチャイナエアライン路線においては、訪日旅客（インバウンド）需要が堅調な推移を見せる一方で、歴史的な円安や燃油サーチャージの高騰などの要因により、地元・地域からの広島発旅客（アウトバウンド）の利用状況は未だコロナ前の水準まで戻りきっていない現状があります。また、昨年には運航ダイヤの変更も実施され、地域における路線の認知度向上や利用定着が改めて求められています。近年の日台間における航空路線の競争も激しさを増す中、広島空港における台湾路線の維持・拡大に向けて、アウトバウンド需要の新規創出・強化が課題となっています。

■10 月 19 日の講義内容

内 容：チャイナエアラインの現状と課題（仮）

日 時：10 月 19 日（月）14：40～16：10

対 象：安田女子大学 現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科 3 年生 11 名（山下ゼミ）

■今後のスケジュール

実施日	テーマ	取材可能
10 月 19 日（月）	チャイナエアラインの現状と課題（仮）	○
10 月 26 日（月）	エアラインにおけるマーケティング手法および戦略（仮）	
12 月初旬	学生による調査・フィールドワーク、適宜ミーティングを実施	
12 月 7 日（月）	最終発表会・審査	○
2027 年 2～3 月	最優秀グループによる台湾実地調査、Vlog 撮影・作成	
2027 年 3 月	実地調査報告会、Vlog 発信	未定

【本件に関する取材の申込み・お問い合わせ先】

安田女子大学 企画部（担当：島・隼田）

TEL : 082-878-9980 FAX : 082-878-8408 HP : <https://www.yasuda-u.ac.jp/>

E-mail : kikaku.box@yasuda-u.ac.jp